

平成29年度協働事業報告会（28年度事業実施分） 質疑応答

「多言語化メニュー翻訳支援事業」（市民活動団体提案協働事業）
（NPO法人 JIAOLIU鎌倉／ 観光商工課）

- Q 大変ニーズのある事業だと思う。登録するのにお金はかかるのか。
- A （団体）無料である。
- Q 色々なフォローアップも無料か。
- A （団体）全て無料。今年度は事業費を全然いただいている。
- Q 店舗数が増えないというのは高齢化が原因か。
- A （団体）この事業を立ち上げて市に、広報をしていただき大変反響があったがメールでのやり取りが多く“既に作ってある表現を見て欲しい”や“分からない食品名の翻訳をして欲しい”ということが主流だった。またパソコンを持っていない方はいないが、少しインターネットをやっている程度で次に進めないケースも見受けられた。一緒にやれば出来るケースもあったが、、、
- Q 財源をどうするのが課題であると思うが、考えていることはあるか。
- A （団体）学生のボランティアさんをお願いして一緒に作ることや、プリントしてラミネートするなど考えている。
- Q 企画書の事業収入には、料理メニュー作成で5万円、一店舗あたり千円と書いてあるが、報告書には事業収入ゼロになっている。企画書通りにいけば赤字にならないはず。何故一店舗あたり千円をいただけなかったのかお伺いしたい。
- A （団体）全てメニューを作るという飲食店はなかった。既に出来ているのでメニューを確認してほしいという要望や、お店のPRの翻訳をしてほしいといった要望が多く、その活動で終わってしまった。
- Q 翻訳をお願いしたら、翻訳料をいただく能力みたいなものを事業者と負担していかないと運営できないと思う。
食習慣の話はお店だけでなく、子どもたちにもいい教科書になるかと思う。もう少し幅広い活用をしてもよいかと思う。市内の飲食店はどのくらいあるのか。
- A （団体）二千くらい。
- Q 観光客が行く所ばかりとは限らないが1軒百円出しておけばどうか。相当数あると思う。
- A （担当課）最初の広報を、商工会議所で行った際に各会員の方にお配りいただくよう用意した。実際細かいところまでどうするかというところにはなかなかいたらず、二の足を踏んでしまった方が非常に多かった。そこからメニュー作成に至らなかった。